

第56回埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳末梢科学研究センター

情動に影響を及ぼすアロマセラピーの 科学的解明に関する研究

佐藤 忠章 先生

東邦大学薬学部生薬学教室 講師

日時：2015年 2月 5日（木） 16:20 ~ 17:20

場所：工学部講義棟 1階 50番 講義室

アロマセラピーは、一般の人々から専門のアロマセラピスト、そして医療従事者に至るまで幅広く用いられている。さらにアロマセラピーもどきのアロマ関連製品となると、使ったことが無い人はいないと言っても過言ではない。そのためアロマセラピーは、既に科学的に解明されているかのような錯覚を受ける。しかし実際には、アロマセラピーの部分的なところは解明されてきたが、その本質的な効果の一つである情動との関係についてはほとんど明らかになっていない。その背景には以下の3つが考えられる。Ⅰ. 情動そのものが十分に明らかになっていないこと。Ⅱ. アロマセラピーで用いられる植物精油が多成分であること。Ⅲ. 植物精油の投与経路の一つである吸入投与が神経学的伝達による経路と薬物学的伝達による経路の2つの経路が存在すること。

現在最も興味を持って取り組んでいる部分は、植物精油の神経学的伝達による経路と薬物学的伝達による経路への関わりの部分である。この部分が明らかになれば、これまで別々の分野として進められてきた研究をつなぐことが可能であると考えている。

今回のセミナーでは、当研究室で行われている化学成分分析、マウスによる行動薬理実験、脳内遺伝子発現量の測定によって得られた結果を元に報告する。そして、アロマセラピーの科学的な解明を通して、情動も明らかにしたいと考えている。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。 <http://subsai.saitama-u.ac.jp/>

問合せ：脳末梢科学研究センター 中井 淳一 内線5140